

技術文献および活用事例リスト

1) 技術文献-----基本的には、理論が主で適用先のみ紹介しているもの

適用 対象	年代	資料名
一般	2012	仁瓶：疲労センサを用いた溶接構造の寿命診断技術，設計工学 Vol.47 No.11 特集「メンテナンスとリユースの設計」，2012
	2009	仁瓶：経年した溶接構造物の疲労センサによる寿命診断，溶接技術 Vol.57 特集「メンテナンスと供用中非破壊検査技術の現状」，2009.10
	2007	小林、他：疲労センサによる溶接構造物の疲労寿命診断，検査技術，2007.12
	2007	仁瓶、他：疲労損傷度モニタリングセンサ(犠牲試験片)，溶接学会平成19年度秋季全国大会フォーラム，「溶接構造物の疲労健全性モニタリング」，2007.9.20
	2007	小林、他：疲労センサによる溶接構造物の疲労寿命診断，溶接学会誌，Vol.76 No.4 特集記事「溶接構造物の疲労診断技術の最新動向」，2007.6
	2007	小林、他：疲労センサによる溶接構造物の疲労寿命診断，第6回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム (JCROSSAR 2007)，2007.6
	2006	小林、他：溶接構造物に対する疲労センサを用いた疲労寿命診断，(社)に本非破壊検査協会 保守検査ミニシンポジウム，2006.10
	2005	村岸：疲労センサを用いた鋼構造物の疲労寿命診断，日本プラントメンテナンス協会 第45回設備管理全国大会，2005.11.16
	2005	村岸：疲労センサを用いた鋼構造物の疲労寿命診断，日本クレーン協会 第26回全国クレーン安全大会，2005.11.10
	2005	村岸：疲労センサによる鋼構造物の疲労寿命診断，溶接学会誌，Vol.74 No.4「実用講座」，2005.6
	2004	村岸：疲労センサを用いた疲労寿命診断，日本鉄鋼協会 第71回設備技術部会大会，2004.11.12
	2004	Muragishi, et al. : Remaining Life Evaluation by Fatigue Detecting Sensor, IIW-XIII, 2004.7.11
橋梁	2010	K.Nihei et al. : Remaining life estimation by fatigue damage sensor, Bridge Engineering 163 Issue BE1, Institution of Civil Engineers, March 2010
	2004	"松田、他：疲労センサによる実構造物の余寿命評価，日本溶接協会・溶接構造シンポジウム 2004 講演論文集，2004.11.15
	2003	大垣、他：疲労センサーによる鋼橋の余寿命診断性能に関する実験研究，土木学会第58回年次学術講演会講演論文集，2003.9.

船舶	2016	小林、他：嵐モデルに基づいた疲労センサによる船体構造の疲労寿命推定手法の高度化－第2報：頻度データを活用した推定手法，日本船舶工学会論文集，第23号，2016.6
	2016	小林、他：嵐モデルに基づいた疲労センサによる船体構造の疲労寿命推定手法の高度化，日本船舶工学会論文集，第23号，2016.6
	2014	仁瓶：船体構造疲労ダメージの実用的なモニタリング－疲労センサによる余寿命診断技術－，日本船舶海洋工学会誌 KANRIN_55 ， 2014.7
	2012	T.Kobatashi et al. : Improvement in Prediction Accuracy of Hull Fatigue Life Using a Fatigue Damage Sensor under Random wave loads, TEAM2012, 2012.9
	2011	小林、他：疲労センサを用いた船体構造の疲労寿命推定精度向上について－第2報：嵐波形のパターンが異なる場合の影響－，日本船舶海洋工学会論文集，第13号，2011.9.8
	2011	仁瓶：船体疲労損傷モニタリング－疲労センサを用いた船体構造余寿命予測－，保全学会 第11回保全セミナー「産業界における保全活動の現状と将来」第一部：輸送機器の保全，2011.1.31
	2010	Yukichi Takaoka et al. : Application of Fatigue Damage Sensors in the Monitas System, OTC 20870, 2010.5
	2010	仁瓶：船体疲労損傷モニタリングについて－疲労センサを用いた船体構造の余寿命予測－，日本船舶海洋工学会誌 KANRIN_29 ， 2010.3
	2009	Yukichi.T et al. : A Study on the Improvement of Prediction Accuracy of Hull Fatigue Life Using a Fatigue Damage Sensor, ISOPE2009, 2009.6
	2009	孝岡、他：疲労センサを用いた船体構造の疲労寿命推定精度向上について，日本船舶海洋工学会論文集，第9号，2009.10.8
	2007	仁瓶、他：疲労センサを用いた船体溶接構造の余寿命診断，作業船，No.289，2007.11
	2007	宇佐美、他：疲労センサを応用した船体寿命監視システム，溶接学会平成19年度秋季全国大会フォーラム，「溶接構造物の疲労健全性モニタリング」，2007.9.20
	2006	T.Koiwa,et al. : A Study on a Fatigue Management System for LNG Carriers Using a New Fatigue Damage Sensor. Conference Papers of ICSOT 2006, 2006.
	2005	小林、他：小型疲労センサの実船への適用－耐環境性の向上－，日本船舶海洋工学会講演会論文集，第1号，2005.11
2000	仁瓶、他：既存船の疲労損傷度推定に関する研究－疲労センサーの開発－，関西造船協会春季講演会論文集，2000.5.25	

2) 活用事例-----基本的には寿命診断の結果を掲載しているもの

適用分野	年代	資料名
橋梁	2005	新銀、他：疲労センサを用いた既設鋼橋の疲労寿命診断，土木学会平成17年度全国大会第60回年次学術講演会，2005.9.7
	2005	仁瓶、他：疲労センサを用いた余寿命診断について，溶接学会平成17年度春季全国大会フォーラム，「土木分野における溶接最前線と将来を展望する」，2005.4.21
	2004	梅田、他：横桁補強の耐久性向上効果の疲労センサーによる検討，土木学会第59回年次学術講演会講演論文集，2004.9.
	2003	梅田、他：疲労センサーの鋼橋橋脚隅角部への適用，土木学会第58回年次学術講演会講演論文集，2003.9.
	2003	川口、他：疲労センサーによる余寿命診断と応力頻度計測による手法との比較，土木学会第58回年次学術講演会講演論文集，2003.9.
	2002	川口、他：疲労センサーによる損傷モニタリングの橋梁への適用，土木学会第57回年次学術講演会講演論文集，2002.9.25
	2002	梅田、他：疲労センサーによる鋼橋の疲労損傷度評価，国土交通省近畿地方整備局平成14年度管内技術研究発表会，2002.7.9
車両	2003	小林、他：小型疲労センサーの開発と実機適用，日本機械学会第2回評価・診断に関するシンポジウム講演論文集，2003.12.3